西洋音楽の流れを辿って

11月 6日・11月 20日・11月 27日
木曜 18:30-20:00

全3回 13,200円（税込） 定員 35名 最低開講人員10名 申込締切 10月16日（木） 開講教室：C305

西洋音楽の源流を見つめ直し、背景にあるものを考察してみると様々な様相が浮かび上がってきます。
ご自分のお気に入りの音楽がどのような時代に生まれたのか、当時の聴衆はどのように受け入れたのか、など考えながら聴き直してみると、改めて聴き慣れた音楽が新たな装いで立ち現れてきたりします。西洋音楽史全貌を概観し、その流れの中でいくつか顕著な特徴あるジャンルを取り上げてご一緒に聴いていきましょう。

坂崎 則子 先生

東京藝術大学楽理科、同大学院音楽研究科修了。
現在、東京音楽大学客員教授。ルネサンス・バロックのリュート音楽研究。本学学部、大学院では西洋音楽史、オペラ史、文献研究、学生の論文指導などを担当。

中国音楽の楽しみ方

11月 8日・11月 22日
土曜 16:00-17:30

全2回 8,800円（税込） 定員 35名 最低開講人員10名 申込締切 10月18日（土） 開講教室：C308

1972 年の日中国交正常化により、それまで冷え切っていた両国の文化交流が積極的に行われるようになった。1980 年代以降からは中国の民族器楽が多数紹介され、その独特な音色に興味を持つ方が多くなった。特に近年では中国の映画やドラマの音楽、日本国内のテレビ、ラジオなどのメディアでも日常的に中国楽器の演奏を聴くことができるようになり、その影響で中国楽器を学ぶ方が増加している。本講座は中国の器楽に興味を持つ方を対象とし、中国楽器の学び方、および中国音楽をより楽しむためのヒントや私の経験をお伝えすることを目的とする。皆様のご参加をお待ちしております。

王明君 先生

上海出身。北京中央音楽学院を経て中国音楽学院を卒業。卒業と同時に国家最年少記録で専任講師に任命される。85 年に来日し、東京藝術大学大学院修士課程（音楽学）修了。これまで、東京交響楽団、広島交響楽団、旧新星日本交響楽団、北京中央楽団、上海交響楽団など多くのオーケストラと共演。99 年、文化庁主催のコンサートでは天皇、皇后両陛下の御前で演奏を行う。03 年には自作王明君 先生 曲「星光」で民音芸術大賞を受賞。日本ではこれまで 7 枚の CD を発表。現在、昭和音楽大学教授、東京音楽大学非常勤講師。

※ 各教員方のプロフィールは 2025 年 4 月現在のものです。

お申込先

https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/42619.php

社会連携部事業課
shakaijin2@tokyo-ondai.ac.jp
03-3982-3324

お申込み及び注意事項について

- 先着順で受け付けます。お申込みいただいた場合でも、すでに定員満了となっており、お断りする場合があります。なお、定員に満たない講座は開講しない場合もあります。
- 受講料のお支払いについては、各講座の申込締切日以降にメールでご案内いたします。
- 講座の内容、開催日時や教室番号は都合により変更となる場合があります。
- 受講料お振込後、または講座途中のキャンセル、返金は致しかねます。
- お申込み後に受講受付連絡をメール配信します。お申込み内容をご確認ください。
- すべての講座は日本語で行います。
- 機材を使用する講座は、使用料が含まれております。

講座開催場所

東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス
〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1

Google Map

JR 「恵比寿駅」より徒歩 14 分
私鉄 東急東横線「中目黒駅」「代官山駅」より徒歩 5 分
地下鉄 日比谷線「中目黒駅」より徒歩約 5 分

TCM

2025 年度 東京音楽大学
秋学期 社会人向け 公開講座

東京音楽大学 社会人の学びの場

音楽大学でより本格的に“学びたい・学び直したい”
社会人の方々を対象に、中目黒・代官山キャンパスにて
「社会人の学びの場」を開講しています。

開講講座

- 天皇が奏でた音楽 ～話と演奏～ シリーズVI
- 分析によって得られる解釈からより深い表現へ！ ～ベートーヴェンのピアノソナタ～
- 即興的ピアノ演奏のススメ・中級 ～伴奏アレンジから即興へ～
- ガレージバンドで作曲を！
- 「リズム」はしゃべる事で手に入れよう
- 創作への誘い ～自分のピアノ曲を作ってみませんか？ 初めて曲を作る方の為の
- 西洋音楽の流れを辿って
- 中国音楽の楽しみ方

天皇が奏でた音楽 ～話と演奏～

9月 5日・9月12日・9月 19日
金曜 18:30-20:00

全3回 13,200円（税込） 定員 35名 最低開講人員10名 申込締切 8月15日（金） 開講教室：C306

前近代の天皇が帝王学の一環として音楽(管絃)を学び、時代とともに演奏する楽器が変わってきたことや、それが政治に影響を与えたことは、あまり知られていません。この講座は初めての開講です。そのため、第一回目では、天皇と音楽について概要を説明し、全体像が理解できるようにします。第二回目では、古代の天皇と音楽に焦点を当て、特に古代において天皇が主に演奏していた琴（和琴・七絃琴・箏）との関わりについて掘り下げたいと思います。第三回目では、七絃琴を見たり聴いたりして、古代の天皇が修めた音楽を学びます。

豊永 聡美 先生

学習院大学大学院人文科学研究科博士後期課程単位取得。博士（史学）。現在、東京音楽大学教授、学習院大学文学部非常勤講師。主な著作に『中世の天皇と音楽』（吉川弘文館、2006 年）、「平安時代の宮廷音楽」（日向一雅編、『源氏物語と音楽』青簡社、2011 年）、『天皇の音楽史』（吉川弘文館、2017 年）がある。

鳥谷部 輝彦 先生

東京藝術大学大学院博士後期課程単位取得後退学。博士（音楽学）取得。本学付属民族音楽研究所にて龍笛の講師を務め、公開講座「伊福部昭の遺した楽器～明清楽楽器を聴く～」の明笛・清笛を務める。宮内庁式部職楽部の元楽師や日本・中国の音楽家に師事し、中国で国際交流活動や英国で資料調査を行い、雅楽と七絃琴の演奏に取り組む。

分析によって得られる解釈からより深い表現へ！（シリーズ VI）
～ベートーヴェンのピアノソナタ～

9月 22日・9月 29日・10月 6日
月曜 18:30-20:00

全3回 13,200円（税込） 定員 35名 最低開講人員10名 申込締切 9月1日（月） 開講教室：C400

言葉のある「歌曲」に思想を込めたのではなく、歌詞を持たない「器楽」でそれを表現することに成功したベートーヴェン。不生出の作曲家がピアノソナタで何を試み、その結果何が生み出されたのかを探ります。
受講者は各自、楽譜を用意して下さい。主に第 1 楽章を中心に分析します。ベートーヴェンのピアノソナタを弾いた事がある、またはよく聴いている方を対象としますが絶対条件ではありません。

照屋 正樹 先生

東京藝術大学音楽学部作曲科及び同大学院音楽研究科作曲専攻卒業
現在、東京藝術大学名誉教授、東京音楽大学非常勤講師
主要著書：「楽典～音楽の基礎から和声へ」（アルテスパブリッシング刊、共著）
「フォルマシオン・ミュジカル教育法によるティーチングプラン」（東京藝術大学出版会刊）

即興的ピアノ演奏のススメ・中級
～伴奏アレンジから即興へ～

10月 11日・10月 25日
土曜 16:00-17:30

全2回 13,200円（税込） 定員 20名 最低開講人員7名 申込締切 9月20日（土） 開講教室：C402

「おしゃれな和音付けをしてみたい」「オリジナリティのあるアレンジで演奏してみたい」という方を対象にした、伴奏付けの応用編。コードネームを用いて多様な和音進行や伴奏形を実践、さらにベースラインや対旋律、楽曲構成まで、様々に組み合わせて鍵盤上で演奏しながらアレンジ（ 編曲 ）していきます。コードの知識があればより理解しやすいでしょう。クラシック音楽における即興の歴史にも重ね合わせながら、指導現場や趣味の発表の場などあらゆるシーンで役に立つ即興的演奏スキルと表現力を養います。

渚 智佳 先生

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、東京藝術大学大学院修了。全日本学生音楽コンクール全国大会高校の部、園田高弘賞ピアノコンクール等にて優勝。東京都交響楽団、チェコ・フィル八重奏団等と共演。全音ピアノ教則本ＣＤでは「ソナタ・アルバム」「ツェルニー 50 番」始め 20 タイトルを超える録音を行なう。ヤマハ音楽振興会にてピアノ指導法講座や教材編纂・録音に携わる。演奏活動の傍ら作編曲も手掛け、R. シュトラウス「英雄の生涯」吹奏楽編曲版を出版。現在、東京音楽大学准教授、ヤマハ音楽研究所研究員。

ガレージバンドで作曲を！

10月 11日・10月 18日・10月 25日
土曜 11:00-12:30

全3回 19,800円（税込） 定員 12名 最低開講人員7名 申込締切 9月20日（土） 開講教室：C411

世の中に溢れている音楽の多くは、「打ち込み」で作られた音楽です。生楽器による演奏・録音ももちろん重要なことですが、現在、打ち込みで作る音楽のために、様々な方法が模索されています。この講座では、Apple 社の iPhone、iPad などにプリインストールされている「ガレージバンド」を足掛かりとして、現在の「音楽の作り方」を知り、自作曲を作り、「自分オリジナルの音楽」を具現化することを試みます。

土屋 真仁 先生

東京音楽大学、作曲／映画・放送音楽コース（現：ミュージック・メディアコース）卒業。東京音楽大学准教授。
作曲家グループ「ペアグラウンド」のメンバーとして 2016 年 4 月より放送が開始された NHK「おかあさんといっしょ」内の人形劇「ガラピコぷ～」オープニングテーマ、および劇伴音楽などを 6 年間担当。
「2～5 歳児の簡単器楽合奏曲集」（ナツメ社）の編纂に、監修・編曲として参加。

「リズム」はしゃべる事で手に入れよう

10月 16日・10月 23日・10月 30日
木曜 18:30-20:00

全3回 13,200円（税込） 定員 35名 最低開講人員10名 申込締切 9月25日（木） 開講教室：C308

この講座のために「しゃべって歌って味わって覚える　リズム基礎講座」という本を書きました。
しゃべり言葉からリズム形にアプローチしていきます。
たとえば「こまった」「しまった」をおしゃべりし、次にリズム形に接してから「犬のおまわりさん」を歌います。
「こまってしまって」のところをリズム形を見ながら歌い、目に焼きつけ、且つ味わいます。
春期では、ポピュラーからの引用も多数有り。「なごり雪」「卒業写真」「しくらめんのかほり」・・・・等を歌いました。
楽しい講座です。奮ってご参加くださいませ。
※ 受講者は各自、「しゃべって歌って味わって覚える リズム基礎講座」（音楽之友社、税込 1,760 円 ）を用意してください。

髙橋 千佳子 先生

東京藝術大学作曲科卒業。同大学院ソルフェージュ科修了。作曲を池内友次郎、矢代秋雄、永冨正之、間宮芳生、松村禎三の諸氏に、ピアノを谷康子女史に、また伴奏法をアンリエット・ピュイグ＝ロジェ女史に師事。国立音楽大学、東京藝術大学及び同附属高校、日本大学芸術学部、東京音楽大学の講師を経て、現在、東京音楽大学附属高校講師。成城ソルフェージュ研究会代表、日本ソルフェージュ研究協議会理事。また、1977 年より CM 作曲に携わり、ヒット作は明石家さんまのキッコーマン・ぽん酢しょうゆ「しあわせって何だっけ？」。著書に『ドレミでみつける名曲のヒミツ』『言葉で味わうリズム唱入門』（音楽之友社）、『たのしいリズムパーティー 1、2 巻』『ぷっぷるのリズムカード』『いちばんやさしい 3 歳からのソルフェージュ、5 歳からのソルフェージュ』（ヤマハ M.E.H.）など。

創作への誘い
～自分のピアノ曲を作ってみませんか？　初めて曲を作る方の為の

10月 18日・10月 25日・11月 8日
土曜 14:30-16:00

全3回 19,800円（税込） 定員 20名 最低開講人員7名 申込締切 9月27日（土） 開講教室：C402

近年大人になってからピアノを始める方や、子供の頃に習っていて、また再開される方が増えてきました。過去の名曲を演奏することも大きな楽しみですが、そこにもし自分のオリジナル曲を加えることが出来れば、今までとは違った音楽世界が開かれるのではないでしょうか。ベートーヴェン、ショパン、リストなど偉大な作曲家達も演奏することから始め、ピアノ作品を作り、そこから様々な作品へと幅を広げて行きました。難しい曲でなくても自分の曲を作り演奏する事によって、作品に対する見方にも変化をもたらすと思います。実習をしながら作曲の基礎を体験する講座ですので、初歩的な楽曲の演奏経験がある方を対象とします。

喜久 邦博 先生

ピアノ曲及び吹奏楽曲の作編曲を多く手掛け今日に至る。
ピティナ・ピアノコンペティション、カワイこどもピアノコンクールの課題曲として多くの作品が選定され、たくさんの子供達に演奏されている。
またヤマハ音楽振興会指導スタッフとして、講師の育成研修業務、グレード関連講座及び試験官、優秀生徒の発掘育成、JOC（ジュニアオリジナルコンサート）の制作ディレクションなど、多岐にわたる業務に携わり現在に至っている。東京音楽大学、大阪芸術大学、ヤマハ音楽院各講師。日本作曲家協議会会員。